

子ども用



伝道地便り

2022年 第1期 南アジア太平洋支部

第1話「病院に行った本」	ラオス
第2話「火事！助けて！」	ラオス
第3話「奇跡を行ってくれるお父さん」	タイ
第4話「頭を下げるのは神さまだけ」	タイ
第5話「本当のイエスさま」	インドネシア
第6話「奇跡の孤児」	東ティモール

ADVENTIST
MISSION

セブンスデー・アドベンチスト教団 伝道局 安息日学校部

伝道地便りの用い方のヒント

伝道地便りに収められているのは、現地からの一人ひとりの生きた経験です。安息日学校でこれを用いるときには、生き生きとご紹介していただきたいのです。そのためのヒントを、いくつか列挙いたします。

- 1) 前もって何度か目を通し、自信を持って読む。
- 2) 棒読みは避け、証されている大事な部分を明確にしておく。
- 3) 伝える時間はできるだけ短く。長くても5～7分。
- 4) 誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どうしたかが分かるようにする。
- 5) できたらカードに文字や絵を書くなどの視聴覚的工夫を。
- 6) 時には、スキット(寸劇)風にしてくださっても良いですね。

伝道地便りは、私たちが自分の証をするときの練習になります。
主の愛の証のために、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして」
紹介しましょう。

1. 病院に行った本

ラオス



サムフォーニ

『キリストへの道』は病院に行きました。いえ、決して本が病気になったわけではありません。『キリストへの道』は人々を救うために病院へ行きました。

病院に行く人は何かしらの病気になっています。そしてそれを治してもらうために病院へ行きます。病院に集まる人々の中には、頭が痛かったり、お腹が痛かったりする人たちがいます。時には、腕や足を骨折している人もいます。心臓、肺、肝臓や腎臓に問題がある人もいるかもしれません。痛みや心配があり、少しでも良くなりたいと思って病院に行きます。

『キリストへの道』は頭痛や骨折、悪くなった肝臓を治すことはできません。そのまま薬として飲むこともできませんし、包帯のように腕に巻くこともできません。でも、この本は良い薬で、人々に希望を与えることができます。どのようにしたらイエス・キリストと友だちのような関係になれるかを教えます。それだけではなく、人々を聖書へと導き、聖書を読むとイエ

ス・キリストについてもっとよく知ることができることを説明します。

ラオスに住むノアは『キリストへの道』を持って病院に行きました。その病院にいる人の中にクリスチャンは1人もいませんでした。それどころか、みんな神さまについて聞いたこともありません。でも病院にいる人々は、話し相手になったり、祈ったりしてくれる人が来ることが嬉しかったので、ノアのことをとても温かく迎えてくれました。もちろん、ノアが持っていた贈り物の本も喜んで受け取ってくれました。

一番喜んだのは8歳のサムフォーニでしょう。ノアがサムフォーニの部屋を訪ねた時、サムフォーニはひどい痛みの中にいました。サムフォーニの左腕と胸の一部はやけどを負っていました。お父さんとお母さんが見守る中、サムフォーニは苦しみでうなっていました。

ノアは優しいまなざしで、心細そうなサムフォーニを見ると、「お祈りしてもいいですか。天におられる、すばらしい愛の神さまにあなたの痛みを取り除き、癒してくださるように祈ります」と言いました。

サムフォーニは神さまのことを聞いたことがありませんでしたし、祈ってもらったこともありません。でも「天におられる、すばらしい愛の神さまが痛みを取り除き、癒してくださる」という響きがとても魅力的に感じられました。

「神さまにお祈りしてください」とサムフォーニは言いました。

ノアは、サムフォーニのために、「痛みが取り除かれ、やけどが癒されるように」と祈りました。また、サムフォーニのご両親のために祈りました。そして、サムフォーニが一日も早く自宅に戻れるようにとも祈りました。

次の日、ノアがもう一度病院を訪ねると、そこにはにこにこ顔のサムフォーニがいました。

サムフォーニは胸を張り、部屋中に響き渡るような声で「神さまが、僕の痛みを取り除いてくださったよ！ それに、やけどは昨夜一晩ですっかり乾いたよ」と言うのです。

サムフォーニのお父さんとお母さんはにっこり微笑みました。息子サムフォーニは痛みがなくなり、やけどの傷も良くなってきました。それは、本当に奇跡でした！ 神さまは、ノアの祈りに応えてくださいました。

ノアは、サムフォーニの両親に『キリストへの道』を渡しながら「祈りを聞いて応えてくださる神さまとどのようにしたら友だちになれるか書かれていますよ」と言いました。

そして、ノアはサムフォーニのためにもう一度祈りました。「天におられる、すばらしい愛の神さま、サムフォーニの痛みを取り除き、癒してくださいあってありがとうございます。アーメン」

ノアが祈り終わった時、その部屋にいた他の患者も自分のために祈って欲しいと願い出ました。彼らは同じ部屋でサムフォーニが苦しむのを見ていたので、神さまが本当にサムフォーニから痛みを取り除かれたということを目撃していました。

ノアは、その部屋にいた患者さん1人ひとりのために祈りました。みんな『キリストへの道』を手に取り、読み始めました。そこにいた誰もが、サムフォーニを助けてくださった天におられるすばらしい愛の神さまと友だちになり、神さまによって救われたいと願ったのです。

今期の13回献金の一部は、ラオスの子どもたちに天におられるすばらしい愛の神さまについて教えるための学校建築に用いられます。13回献金にご協力くださり心より感謝申し上げます。

〈お話のヒント〉

- 地図を見て、ラオスを探してください。
- お話を読み始める前に『キリストへの道』を子どもたちに見せましょう。
- サムフォーニはペンネームです。
- Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
- 数年前まで、全てラオス語に訳された聖書はありませんでした。しかし現在は、ラオス語の聖書とエレン・ホワイトによる本ができ、国中へ配布されています。• 次のリンクで南アジア太平洋支部についての情報「Fast Facts and Mission Posts」を見ましょう。
bit.ly/ssd-2022.
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の“I Will Go” 戦略計画の、以下の構成要素を表しています。それは「伝道の目的」の2番目にある「多様化する都市部や10/40ウィンドウ、まだ宣べ伝えられていない、宣べ伝えられにくいグループの人々、またクリスチャンでない人々へのアドベンチスト伝道を強める」と、3番目にある「キリスト教以外の宗教や信仰体系に対する伝道教材を開発することを最優先する」です。学校建築は、4番目にある「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々のうちに神のかたちを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」です。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

2. 火事！ 助けて！

ラオス



エイミー

パチパチ！ 真夜中、エイミーは聞きなれない音で目を覚ましました。顔を上げると、焦げたにおいがします。

他の部屋では、同じようにお父さんとお母さんが、聞きなれない音と焦げたにおいで目を覚ましていました。エイミーのお兄ちゃんも目を覚ましました。

しかし、部屋から出て何が起きているのか見ようとする人は誰もいません。ラオスにあるエイミーたちが住む村では強盗が家に押し入ることがよくあったので、起きて見に行ったところで襲われたくないという思いがありました。

とうとう、エイミーの好奇心が勝り、エイミーは何が起きているのか見に行くことにしました。ドアからそっと覗くと、テレビが炎に包まれているではありませんか。テレビはリビングにある木製の棚に置かれていました。その棚の上には大きな花瓶が置かれています。

すべてが熱い火で覆われているように見えました。オレンジの炎は今にも天井に届きそうです。炎はどんどんキッチンや車庫にも燃え広がろうとしていました。

「火事！」と、エイミーは叫びました。「助けて！ 助けて！」

でも、火が強いので、誰も部屋から出てこようとはしませんでした。お父さんもお母さんもお兄ちゃんもみんな自分の部屋の窓から家の裏側に飛び出しました。エイミーは走って逃げようとしたのですが、転んでしまいました。

その時、エイミーは、「神さま、私たちを助けてください」と、祈りました。

その瞬間、大きな花瓶が木製の棚から落ち、火の中で割れました。天井やキッチン、車庫に燃え広がろうとしていた炎は勢いを失いました。そして、火は全く見えなくなりました。

外では火事に気付いた近所の人々がエイミーたちを助けようと、車庫に入り、燃えている場所に近づくために車の窓ガラスを割ろうとしていました。しかし、いくら強くガラスを叩いても、ガラスは割れませんでした。そうこうしているうちに火事は収まりました。もしガラスが割れてしまっていたら、元に戻すのにたくさんの費用がかかったことでしょう。

どうして火事は収まったのでしょうか。どうして車の窓ガラスは割れなかったのでしょうか。不思議なことは他にもありました。お母さんとエイミーとお兄ちゃんはクリスチャンで天の神さまを心から愛していました。でもお父さんは神さまについて知りませんでした。安息日にお母さんと子どもたちが教会に行くことは許していましたが、お父さんは一緒に行こうとはしませんでした。まったく興味がなかったのです。多くのラオスの人がしているように、

お父さんは亡くなった先祖の代わりとして造られた木の像を家に飾り、それを拝んでいました。火事後、家を見ると、先祖の代わりとして造られた木の像だけが燃えて灰になっていました。その他の物は全て守られました。

火事後、エイミーたちはリビングルームをきれいにし、ペンキを塗りました。そして家全体を神さまにお献げしました。家も家にある全ての物も神さまのものであるということに気がついたからです。神さまへ祈りをささげる時、お父さんも祈りに加わりました。木の像よりもエイミーが祈っている神さまのほうが力があることに、ついに気がついたのです。

安息日学校で皆さまが伝道地のために献金してくださることを心から感謝します。皆さまの献金によってラオスの人々に福音が宣べ伝えられます。今期の 13 回献金の一部はラオスの小学校建築に用いられます。

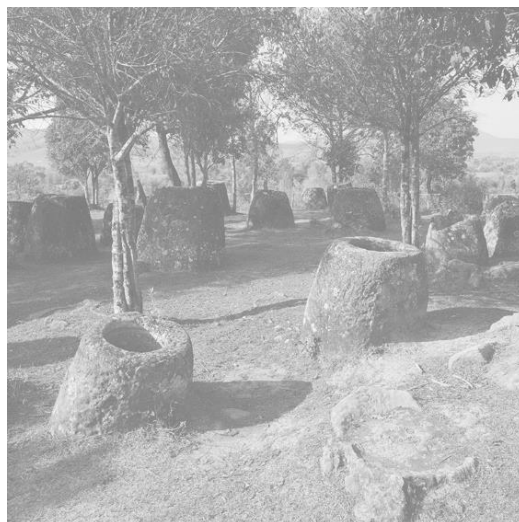
〈お話のヒント〉

- 地図でラオスを見つけましょう。
- Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
- 南アジア太平洋支部からの情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。 bit.ly/ssd-2022。
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の “I Will Go” 戦略計画の、以下の構成要素を表しています。それは「伝道の目的」の 2 番目にある、「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地のクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」です。また、「霊的成長の目的」の 5 番目「個人も家族もキリストの弟子とし、霊的に満たされた生活を送れるようにする」、7 番目にある「青年やヤングアダルトが神を第一にできるよう援助し、聖書的な世界観を示す」という要素を含んでいます。また小学校建築は 4 番目「自由と全人的回復を目指す健康教育、

イエス・キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージの回復を掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」という要素を果たします。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

豆知識

- 世界遺産に登録されている巨大石壺遺跡群には、紀元前 500 年から紀元 500 年くらいまでの間にお葬式に使われていたと言われている 2100 個以上の石でできた壺があります。



3. 奇跡を行ってくれるお父さん タイ



プラディーパ・ラクマリ・フェルナンド

幼い少女は神さまを信じていましたが、大きな疑問を抱いていました。

「神さまは本当に奇跡を行ってくださるの？」

短い人生の中で1度も奇跡を見たことがない、スリランカに住むプラディーパにとって当然の疑問でした。

プラディーパはクリスチャン家庭に生まれました。しかしお父さんはプラディーパが9歳の時に亡くなりました。お父さんが亡くなった後、プラディーパを育てるためにお母さんはとても忙しく働きました。プラディーパは、お母さんにとって人生がいかに大変かを間近で見っていました。だから、プラディーパは、「神さまは本当に奇跡を行ってくださるの？」という疑問を抱いていたのです。

ある日、お母さんはプラディーパに、新しい教会へ行って礼拝することを伝えました。今まで通っていた日曜日の教会ではなく、土曜日に

セブンスデー・アドベンチスト教会へ行くのです。お母さんの友だちが2人を誘いました。

プラディーパは新しい教会が気に入りました。安息日学校で神さまについて学ぶことはとても楽しかったし、聖書のお話を聞くのも好きでした。イエスさまが男の子の持っていた5つのパンと2匹の魚を5000人以上の人に食べさせた話や、12歳の女の子が生き返った話を聞きました。しかし、それでもプラディーパは神様の奇跡を信じられずにいました。奇跡については疑問がありましたが、神さまのことが大好きなことははっきりしていました。そこで、プラディーパはお母さんと一緒にバプテスマを受けました。

大きくなったプラディーパは学校の先生になりたいと思うようになりました。しかし、そこには大きな問題がありました。プラディーパには大学に行くお金がなかったのです。お母さんは一生懸命働いていましたが、それでも十分なお金はありませんでした。そんな時、プラディーパはお父さんが生きていれば…と思うのでした。プラディーパは、「大好きな神さま、あなたが私の本当のお父さんで、私に大学に行つて欲しいと望まれるなら、誰か助けてくれる人を与えてください」と祈りました。

しかし、何も起きません。次の日も、プラディーパは祈りましたが、何も起こりません。プラディーパは祈り続けましたが、1年経っても何も起こりませんでした。その間にプラディーパの祈りは変わりました。最初の頃、プラディーパは、「神さま、あなたがもし私の本当のお父さんなら」と祈っていましたが、そう祈るのを止めました。神さまが本当のお父さんと気付いてからは、「天の父なる神さま、あなたは私のお父さんです。もし私が大学へ行ったほうが良い

と考えておられるなら、誰か助け手を送ってください」と、祈りました。

そして、ある日、電話が鳴り、聞きなれない声で誰かが、「こんにちは」と言いました。続けて、その声は、「大学に行きたいですか？」と尋ねたのです。

プラディーパは声の主が誰かわかりませんでした。でも大学に行きたいことは確かだったので、ゆっくりと、「はい」と、答えました。そして、「でも、母も私もお金がありません。私の父である神さまだけが私を助けることができます」と、続けました。

2日後、同じ人から電話がありました。その声は、「大学へ行く準備を始めなさい。私があなたを助けます」と、言いました。

その時、プラディーパは神さまが本当に奇跡を行ってくださるということを体験しました。目から涙が溢れ、プラディーパは、「私には地上の父親はいないけれど、世界で一番素晴らしい父親が天にいます」と、感謝の祈りをささげました。

今、プラディーパはタイにあるセブンスデー・アドベンチストの学校で先生をしています。そこには、クリスチャン家庭ではない家庭から多くの子どもが通っています。多くの子どもたちは、以前のプラディーパと同じように「神さまは本当に奇跡を行ってくださるの？」と疑問に抱いています。プラディーパは、そのような子どもたちに、自信を持って、「神さまは、あなたのことを愛しておられます。そして、本当に奇跡を行われます！」と天におられるお父さんのことを紹介しています。

3年前、皆さまが献げてくださった13回献金の一部は、プラディーパが働く、タイ・コラートにあるアドベンチスト・インターナショナル・ミッションスクールを新しいキャンパスに移す為の費用として用いられました。新しいキャンパスに移ったことで、より多くの子どもに奇跡を行われる神さまのことを伝えることができるようになりました。

〈お話のヒント〉

- 地図を見てタイを探してみましょう。
- Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
- 次のリンクで南アジア太平洋支部についての情報「Fast Facts and Mission Posts」を見ましょう。bit.ly/SSD-2022.
- プラディーパの一番好きな聖書のみことばを読みましょう。「神に従う人は誇らかに喜び祝い 御前に喜び祝って楽しむ。神に向かって歌え、御名をほめ歌え。雲を駆って進む方に道を備えよ。その名を主と呼ぶ方の御前に喜び勇め。」(詩編 68 編 4、5 節) 子どもたちと、プラディーパがなぜこのみ言葉が好きかを考えましょう。
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の “I Will Go” 戦略計画の、以下の構成要素を表しています。それは「伝道の目的」の 1 番目にある「牧師のみならず、全世代の教会員 1 人ひとりが、世界宣教の概念を復興し、その使命のために献身し、キリストの証人となり弟子を作るという喜びを実践する」と、6 番目にある「子ども、青年、そしてヤングアダルトの信仰継承、定着、回復、参加をうながす」と、7 番目にある「青年やヤングアダルトが神を第一にできるよう援助し、聖書的な世界観を示す」です。プラディーパの働く学校に新しい教室を建設することは、2 番目にある「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」と 4 番目にある「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々のうちに神のかたちを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強め」という目的を果たします。詳細は次のリンクで学びましょう。IWillGo2020.org.

4. 頭を下げるのは神さまだけ タイ



ドロシー・ジェーン 6歳

タイの学校に通う6歳のドロシーは、廊下の先にある祭壇に目を向けました。

「祭壇」とは何かわかりますか？ 祭壇には宗教的な像が置かれています。ドロシーが通う学校では、祭壇にイエスさまの母マリアの像が置かれていました。

学校の先生は、ドロシーだけではなく、子どもたち全員に、マリア像の前を通る時にはお辞儀をするようにと教えていました。ですから、今日も、ドロシーはマリア像の前でゆっくりと膝を曲げてお辞儀をしました。

ドロシーが知らないところで、この姿を見ていた人がいました。

先生をしているドロシーのお父さんが、校舎の4階からふと下を見ると、自分の娘がマリア像にお辞儀していたのです。ドロシーのお父さんはセブンスデー・アドベンチスト教会のクリスチャンでした。最初、お父さんは、お辞儀をしている女の子たちは、マリア像を信じている家庭の子どもたちだと思っていました。しかし、その女の子たちの顔が見えた時、そこに自分の

娘が混ざっていることを知り、とても驚きました。

家に戻ると、お父さんとお母さんはドロシーを呼んで話をしました。

お父さんは、「今日、学校でマリア像にお辞儀しているのを見たのだけれど、どうしてそんなことをするのかい？」と言いました。

ドロシーは目を丸くしてお父さんとお母さんを見つめました。何も間違ったことをしたとは思っていないドロシーは、「先生に言われた通りにしただけよ」と、言いました。

お父さんとお母さんはお互いの顔を見合わせました。確かに、今までドロシーにお父さんとお母さんがセブンスデー・アドベンチストのクリスチャンであると伝えてはいましたが、世の中には他の宗教があって、それらの宗教の中には像に向かって頭を下げるものがあるということまでは教えていませんでした。

お父さんは聖書を開き、出エジプト記20章に書かれている十戒について教えてくれました。「ドロシー、最初の掟はこうだよ。よく聞いていなさい」と、お父さんは言いました。「あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。」とある。ということは、神さまは、私たちに神さまだけを礼拝して欲しいと望んでおられるのだよ。だから、他の何にも頭を下げてはならない」

そしてお父さんは第2の掟も読みました。「あなたはいかなる像も造ってはならない。」

お父さんは、学校にある像は、「彫られた像」であるということを教えてくれました。

「神さまは、私たちは彫られた像に頭を下げるべきではないと教えているのだよ」と、お父さんは言いました。

神さまのことが大好きなドロシーはお父さんの言っていることがよくわかりました。そし

てそれから、神さま以外に頭を下げることを止めました。

しかし、他の子どもが揃ってマリア像に向かって頭を下げる学校に通うことは、ドロシーにとって、とても難しく感じられました。特に、先生が一緒に、子どもたち皆に頭を下げるように言う時は、とても難しい場面でした。ドロシーは先生の言うことに従い、他の子どもと一緒に頭を下げたくなりました。ドロシーにとって先生の言いつけに従わないということは苦しい選択でした。でも、神さまを喜ばせるために、ドロシーは十戒について教えてもらって以来、マリア像に頭を下げることは1度もありませんでした。

そのようにしている間、お父さんとお母さんは神さまに素直な気持ちを祈っていました。お父さんとお母さんはドロシーが直面している苦しみもよくわかっていました。ですから、ドロシーがアドベンチストの学校で学ぶことを願っていました。

そして、神さまは家族の祈りに応えてくださいました。先生であるドロシーのお母さんが、アドベンチスト・インターナショナル・ミッション・スクールで働くことになったのです。お父さんも同じ学校で仕事を得ることができました。

ドロシーは新しい学校がとても気に入りました。そこに通う子どもの多くはクリスチャンではありませんが、先生たちは全員セブンスデー・アドベンチストのクリスチャンで、心から神さまを愛していました。

新しい学校で、ドロシーは十戒についてもっとよく学び、暗唱するまでになりました。

3年前、皆さまが献げてくださった13回献金の一部は、ドロシーが通う、タイ・コラートにあるアドベンチスト・インターナショナル・ミッションスクールを新しいキャンパスに移す為の費用として用いられました。新しいキャンパスに移ったことで、より多くの子どもが神さまだけが頭を下げるに値する方であるということを学ぶことができるようになりました。今

期、皆さまによって献げられる13回献金によって、より多くの子どもが神さまのことを学ぶことができるようになります。皆さまの献金を心より感謝いたします。

〈お話のヒント〉

- 地図を見て、タイを探してみましょう。
- 写真はドロシーと弟、妹たちです。ドロシーのお母さんはタイ・コラートにあるアドベンチスト・インターナショナル・ミッション・スクールの4年生の先生をしています。お父さんは高校の先生です。ドロシー一家はフィリピン出身です。
- Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
- 次のリンクで南アジア太平洋支部についての情報「Fast Facts and Mission Posts」を見ましょう。bit.ly/SSD-2022。
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の“I Will Go” 戦略計画の、以下の構成要素を表しています。それは、「伝道の目的」の6番目にある「子ども、青年、若い大人の信仰の継承、保持、開拓、伝道への参加」と、7番目にある「青年と若い大人が神さまを第一にし、聖書的世界観を持って生きる」です。アドベンチスト・インターナショナル・ミッション・スクールに新しい教室を建設することで、2番目にある「多様化する都市部や10/40ウィンドウ、まだ宣べ伝えられていない、宣べ伝えられにくいグループの人々、またクリスチャンでない人々へのアドベンチスト伝道を強める」と、4番目にある「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージを回復する」ということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」が果たされます。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

5. 本当のイエスさま

インドネシア



アルタ・ダスマセラ

インドネシアのラジャ・アンパット諸島に到着した若い学生伝道師のアルタは、少し悲しい気持ちでした。島にある村の学校で1年間教えることになっていましたが、そこにはセブンスデー・アドベンチスト教会のクリスチャンは1人もいませんでした。アルタは、たった1人でその村に行ったのです。

「なぜ、1人ぼっちなのですか？」と、アルタは祈りました。

しかし、本当にアルタは1人ぼっちだったのでしょうか。いいえ！ 祈ってすぐ、アルタは、イエスさまが共におられることを思い出しました。そこで、祈りの内容を変え、村人にイエスさまの再臨について伝えることができるように祈り始めました。

到着してすぐ、その村の多くの人がイエス・キリストはすでに来られたと信じているということがわかりました。昔、村に住んでいた男の人が「自分がイエス・キリストである」と言い、その男の人が亡くなった後、村人はその男の人を礼拝するようになりました。

アルタは、その男の人がイエス・キリストで

はないとわかっていました。本当のイエスさまが、自分はイエス・キリストだと間違ったことを言う人々が現れるから気を付けるようにと言われたと聖書に書かれているからです。「そのとき、『見よ、ここにメシアがいる』『見よ、あそこだ』と言う者がいても、信じてはならない。偽メシアや偽預言者が現れて、しるしや不思議な業を行い、できれば、選ばれた人たちを惑わそうとするからである。だから、あなたがたは気をつけていなさい。一切の事を前もって言うておく」(マルコによる福音書 13 章 21～23 節)。

日曜日、村で出来た新しい友だちが、アルタを教会に誘いました。牧師先生に自己紹介する時、アルタは、「学校で働くことになりました。もし、病気の人がいれば、お助けすることもできます」と、言いました。そうです。アルタは勉強を教えるだけではなく、病気の人を助ける方法も学んでいました。

牧師先生はその言葉に全く興味を示さず、すぐにアルタにイエス・キリストと名乗っていた男の人について伝え始めました。牧師先生は、「その人は素晴らしい人でした」と、言いました。どうしてよいかわからないアルタは心の中で祈りました。いくら話をしても男の人を素晴らしいと認めないアルタを見て、牧師先生は怒りだしました。そして、なんと教会にいた人全員がアルタに対して怒りを示したのです。

アルタは悲しい気持ちで教会を後にしました。村の人にどのように本当のイエスさまを伝えたらよいかわかりませんでした。

アルタを追って年老いたおばあさんが出てきました。「あなたは、病気の人を助けられると言ったね。うちの夫を助けてくれるかい？」と、おばあさんは言いました。

おばあさんの家に行くと、アルタはおじいさ

んの血圧を測りました。とても高い血圧でした。アルタは、健康的な食事をすると血圧が下がると伝え、2人のために祈りをささげました。アルタが家を出た時、おじいさんが、おばあさんに向かって、「あんな若者に健康について指図されるつもりはない！」と怒っている声が聞こえました。

家に戻ると、アルタはひざまずいて祈りました。「神さま、私のすべてをあなたに献げます。どうか、助けてください」

数日後、あのおばあさんがアルタの家にやってきました。おじいさんと一緒に健康的な食生活をしたので、もう一度血圧を測って欲しいというのです。

アルタは喜んで応じました。村の誰かが、アルタと話をしたいとやってきてくれるなんて！ アルタの助けを必要としている人がいるなんて！ とても嬉しくなりました。

アルタは心の中で、「神さま、ありがとうございます。私の祈りを聞いてくださり感謝します！」と祈りをささげました。

それからしばらくして、おじいさんの体調は良くなりました。それでだけではなく、おじいさんがアルタのことを気に入ったのです。気がつけば、おじいさんもおばあさんもアルタのことを実の孫のように可愛がるようになっていました。おじいさん、おばあさんとアルタの間に愛のある関係を見た村人たちもアルタに親切になりました。アルタには友だちが増え、本当のイエスさまについても伝えられるようになりました。

アルタの一番好きな聖書のみ言葉は、「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。」(フィリピの信徒への手紙 4章 13 節) です。本当のイエスさまは、私たちがする全てのことを助け導いてくださいます！

〈お話のヒント〉

- 地図を見て、インドネシアとパプアニューギニアの横にあるラジャ・アンパット諸島も見つけてみましょう。
- Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
- 写真はアルタが村の学校で教えている様子です。
- アルタはスラウェシ島マナドにあるセブンスデー・アドベンチストのクラバット山大学からの学生伝道師でした。千人宣教師の活動に参加して学生伝道師になりました。
- 次のリンクで南アジア太平洋支部についての情報「Fast Facts and Mission Posts」を見ましょう。 bit.ly/SSD-2022.
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の “I Will Go” 戦略計画の、以下の構成要素を表しています。それは、「伝道の目的」の1番目「牧師のみならず、全世代の教会員1人ひとりが、世界宣教の概念を復興し、その使命のために献身し、キリストの証人となり弟子を作るという喜びを実践する」と、2番目「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」と、5番目「個人も家族もキリストの弟子とし、霊的に満たされた生活を送れるようにする」です。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

宣教メモ

- セブンスデー・アドベンチストの宣教師として最初にインドネシアを訪ねたのはおそらくアブラハム・ラ・ルーで、1888年から1903年の間にジャワ島と訪ねた記録があります。インドネシアでのアドベンチストの働きは当初シンガポールで他の宗派の宣教師だった R.W.ムンソンがスマトラ島の西海岸にあるパダングで 1900 年に宣教したことが始まりと言われています。彼は現地の言葉を話すことができました。初期に改心した 1 人に、シンガポールでムンソンが開いていた孤児院で孤児として養われていた中国系のクリスチャン説教者タイ・ホン・シアングがいます。

6. 奇跡の孤児

東ティモール



バスティ

高い山々に囲まれた東ティモールからバスティのお話をお届けします。

年齢の割に小柄で恥ずかしがり屋のバスティは、厚い緑の木々に覆われた雄大な山々の中でお父さんとお母さんと幸せに暮らしていました。バスティの住む村からは、国中で一番高い 2,986mあるタタマイラウ山の山頂も見ることが出来ます。

しかし、11 歳になったバスティはタタマイラウ山のことなど考えていませんでした。厚い緑の木々に覆われた山々や、彼の住む村のことも考えていません。彼の心は、お父さんとお母さんのことでいっぱいでした。突然お父さんとお母さんが亡くなってしまい、バスティは山の暮らしを離れ、おじさんとお婆さんの住むディリという大きな町に移り住まなくてはならなくなりました。

いよいよ山を下りる日の前日、バスティは夢を見ました。夢の中で光り輝く優しい表情をした天使が現れ、落ち着いた、平安に満ちた言葉でバスティの傷ついた心と暗い将来を包んで

くれました。

「恐れることはありません」と、天使は言いました。「神さまが、あなたを守り導きます」

朝起きた時、バスティは神さまが守り導いてくださることを固く信じることができました。バスティは、どういうわけか、神さまが彼のことを愛し、助けてくださることがわかりました。

それから、バスティは町に住むおじさん、お婆さんと暮らすようになりました。バスティは、以前住んでいた村や、山々、そして一番は、お父さんとお母さんが恋しくてたまりません。でもバスティは、神さまが彼を助け導いてくださることを知っていました。

しばらくして、バスティはいとこたちと元氣よく遊ぶようになりました。また、時々一緒に遊ぶ近所の女の子とも友だちになりました。その女の子は同じ通りに住む、アメリカから来た宣教師の子どもでした。バスティのいとこと女の子は同じ学校に通う同級生でした。

女の子の両親である宣教師夫妻がバスティのことを知ると、バスティのいとこと女の子が通う東ティモールで唯一のセブンスデー・アドベンチストの学校にバスティも通うようにと強く勧めてくれました。彼らが祈ると、信じられないことが起こり始めました。まず、バスティがアドベンチストの学校に通う費用が与えられました。それだけではありません。バスティのおじさんとお婆さんがイエスさまと共に歩む決心をし、バプテスマを受けました。今、バスティはおじさん、お婆さんと一緒に毎週楽しく教会へ通っています。

〈お話のヒント〉

- ・地図で東ティモールを探してください。
- ・バスティの両親が若くして死んだのは、東ティモールで行われている伝統的な契約結婚の影響と考えられます。新郎が新婦の家庭に決められた額の持参金を支払うことが出来なかった場合、結婚後も長きに渡り、葬式や記念日に夫はお金や家畜などを渡さなければいけません。借金返済の義務による重圧や返済できない場合の罰や呪いに対する恐れは多くの人を貧しくさせます。栄養不足などで、何らかの感染症にかかった際には合併症を引き起こす可能性も高くなります。バスティの両親も恐らく同じ境遇だったと考えられます。
- ・次のリンクで南アジア太平洋支部についての情報「Fast Facts and Mission Posts」を見ましょう。 [Bit.ly/SSD-2022](https://bit.ly/SSD-2022)。
- ・この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の“I Will Go” 戦略計画の以下の構成要素を表しています。それは、「伝道の目的」の1番目にある、「牧師のみならず、全世代の教会員1人ひとりが、世界宣教の概念を復興し、その使命のために献身し、キリストの証人となり弟子を作るという喜びを实践する」と6番目にある「子ども、青年、そしてヤングアダルトの信仰継承、定着、回復、参加をうながす」です。東ティモール・アドベンチスト・インターナショナル・スクールの寮建設は、4番目の「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々のうちに神のかたちを回復するということ掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」を達成します。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

豆知識

- ・東ティモールは山が多く乾燥しています。丘陵地帯にはサンダルウッドの木が多く見られ、平地にはココナツの木やユーカリの木を見ることができます。ジャコウネコやワニ、鹿、猿、ヘビの他に有袋動物のクスクスが生息しています。

